



市制50周年記念 府中の今昔
 左上…京王線府中駅
 中央…けやき並木
 右上…庁舎

平成16年度一般会計予算は、予算総額が歳入・歳出それぞれ827億6000万円、前年度に比べ12.6%の増となっております。提案に当たり、市長から「緩やかに景気は回復しているが、市財政の根幹をなす市税は、個人市民税が大きく落ち込み、市税全体では、減収が見込まれている。こうした中、市制施行50周年に当たり、将来を見据えた施策の展開を図るため、事業の見直しと基金の効率的な活用に努め、子育て支援施策をはじめ、福祉、教育、環境、観光などを重視した積極増額予算を編成した。」

**平成16年度府中市一般会計予算
827億6000万円を可決
第1回定例会 24議案を審議**

また、投資的経費については、府中駅南口再開発を推進するとともに、少子化に対応した子育て支援中核施設や複合福祉施設、また、文化センター、小中学校の耐震化対策等に対応した予算を計上している」との説明がありました。

予算特別委員会で慎重な審査が行われました。

そして、最終日の本会議で、賛成・反対の討論が行われ「新たな事業を立ち上げるとともに、事業の見直しを図り、時代の要請に応えた積極的予算であり、賛成する」、「本予算は、市民との協働のシステムづくり課題を残す。市民の暮らしの

の事態に目を向けた市政運営に切り替えるべきであり、反対する」等の意見がありました。

採決の結果、賛成多数で平成16年度一般会計予算を可決しました。

(関連記事2・3ページ)

家庭や地域においても、学力や教育力の低下が指摘されており、教育改革は、国民的課題とも言える。

そこで、青少年の健全な育成について、国として真剣に考え、日本の教育の行く末を明確にすべきである。

本市議会は、国会及び政府に対し、同法改正について徹底した議論を行うことを要望する。

◎容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書

地方自治体は、リサイクルコストの約7割を占める収集・分別・保管を義務付けられている。これが、分別収集に積極的に取り組む

意見書
国・都へ提出

◎パートの均等待遇を求める意見書

長引く不況で、パート労働者の環境も厳しさを増している。正規労働者とパート労働者の格差は、拡大傾向にあり、パートタイム労働法の改正を求める声が高まっている。

◎安定した公的年金制度の確立等に関する意見書

少子高齢化の進展、経済の低迷と厳しい財政状況、深刻な雇用環境など、公的年金制度を取り巻く環境は、大きく変化している。

本市議会は、政府及び都府に対し、安心と信頼の持てる年金制度の確立を図ることなど、3項目の施策を講じるよう強く要望する。

- 主な施策**
- 新規事業
 - 少人数指導等事業
 - 休日開庁
 - まちの環境美化推進事業
 - レベルアップ事業
 - 乳幼児医療費助成事業
 - マンモグラフィによる乳がん検診
 - 地域・デイサービス事業

- 選挙管理委員及び補充員の選挙**
- 定例会最終日の本会議で選挙管理委員及び選挙管理委員補充員の選挙が行われ、次の方々が当選されました。
- 選挙管理委員
- 藤田 信一郎氏(66歳)
 - 鹿島 恒雄氏(73歳)
 - 内藤 和良氏(54歳)
 - 藤田 恵美氏(53歳)
- 選挙管理委員補充員
- 小澤 量氏(44歳)
 - 大塚 勝子氏(60歳)
 - 栗田 正美子氏(63歳)
 - 宮崎 巖氏(66歳)

- 第1回定例会日誌**
(次の日程で開催しました)
- 2月23日 本会議(委員会付託等)
 - 24・25日 本会議(一般質問)
 - 26日 総務委員会
 - 27日 文教経済委員会
 - 3月1日 厚生委員会
 - 2日 建設環境委員会
 - 3日 基地跡地対策特別委員会
 - 4日 再開発対策特別委員会
 - 5日 鉄道対策特別委員会
 - 9日 本会議(常任委員会審査報告等)
 - 10・11・12・15・16日 予算特別委員会
 - 18日 議会運営委員会・厚生委員会・本会議(常任・特別委員会審査報告等)